企画委員会より

２００６年・日本ボンド磁性材料業界推定

企画委員長　伊藤　登
（株式会社　マグエックス）

２００６年度の日本ボンド磁性材料協会の業界推定値は重量で１２,１２０トン（前年比９４％）金額で２１６億円（前年比１０３％）の見込みです。ボンド磁石の分類ではリジッドボンド磁石は微減でフレキシブルボンド磁石と希土類ボンド磁石は昨年より減少しました。

１．フレキシブルボンド磁石

２００６年のフレキシブルボンド磁石は昨年同様減少傾向が続いています。映像音響機器分野では生産拠点が海外に移行し,単価の低下により海外製品での生産比率が高く重量は減少しました。
回転分野では中国メーカーの台頭により昨年に比較して重量・金額ともに大きく減少しました。
OA・プリンタ分野ではリジッドへの移行も一段落の様に見えましたが昨年に比較して重量・金額ともに減少しました。
吸着雑貨分野では海外製品の台頭にもかかわらず昨年に比較して重量は微増しました。
家電分野では製品価格の一部見直しにより単価が上がり金額が大きく増加、重量も増加しました。
フレキシブルボンド磁石全体では重量は前年比８８％、金額９５％と推定しています。

２．リジッドボンド磁石

２００６年のリジッドボンド磁石は映像音響機器を除く全ての分野で昨年より重量・金額ともに増加しました。
OA 分野でのマグロールは小径化により１本あたりの重量、減少にもかかわらず数量の増加により重量は微増しました。金額に於いても製品単価が上がり増加しました。
吸着雑貨・その他の分野での重量が昨年に比較してかなり大きく増加しました。
リジッドボンド磁石全体では重量は前年比９８％、金額１０３％と推定しています。

３．希土類ボンド磁石

２００６年度の希土類ボンド磁石は回転、家電、自動車分野で金額の増加があり、重量に於いては自動車分野のみの増加でその他の分野では重量、金額は昨年を下回りしました。
自動車分野でのモータ・センサーは形状が小さくなり用途が拡大して数量は順調に伸び重量、金額ともに増加傾向にあります。
回転分野では異方性磁粉の用途拡大が見込まれます。
希土類ボンド磁石全体では重量は前年比８５％、金額１０６％と推定しています。

日本ボンド磁性材料業界推定値

単位　：　トン　億円

フレキシブルボンド磁石	4,030	88%	31	95%
リジッドボンド磁石	7,640	98%	113	103%
希土類ボンド磁石	450	85%	72	106%
合計	12,120	94%	216	103%

企画

企画委員会より

内外 BM 市場動向

企画委員長 伊藤　　登
（株式会社　マグエックス）

企画委員会では、当協会の事業のひとつであります国内および海外市場に於ける生産・市場動向について、会員投票会社から提出された国内生産･海外生産実績数値と２００６年１２月７日の世界ボンド磁石討論会での数値を基に企画委員会にて重量および金額を算出して業界推定値を作成しています。

協会ではフレキシブルフェライトボンド磁石、リジッドフェライトボンド磁石、希土類ボンド磁石の分野別に分類、用途別に数値を作成しています。用途別では映像・音響、回転、OA、家電、自動車、吸着･健康･雑貨、その他に分類しています。

２００６年度のボンド磁石の国内生産実績重量は１２,１２０トン（前年比９４％）で金額は２１６億円（前年比１０３％）と推定しています。ボンド磁石の海外生産金額は３５５億円（前年比１１２％）と推定しています。

フレキシブル・フェライトボンド磁石

２００６年の生産重量は４,０３０トン（前年比８８％）で金額は３１億円（前年比９５％）と推定しています。

映像・音響機器分野に於いては単価の低下により海外製品での生産比率が高く国内での生産重量は減少傾向にあります。

回転分野に於いても中国のメーカーの台頭により低コスト対応が厳しく国内、海外での生産重量は減少傾向にあります。

国内での吸着・雑貨分野では中国製品の参入もありますが重量は微増しました。

リジッド・フェライトボンド磁石

２００６年の生産重量は７,６４０トン（前年比９８％）で金額は１１３億円（１０３％）と推定しています。

映像・音響機器分野では生産数量が２００５年度に比較して１０％以下と大きく減少しています。

リジッド・フェライトボンド磁石分野ではマグロールの小径化にともない重量は微増で製品単価が上がり金額は増加しました。

吸着・雑貨、その他の分野では２００５年度に比較して重量・金額が大きく増加しました。

回転、家電、自動車、吸着・雑貨分野に於いても２００５年に比較して重量・金額が増加しています。

単位　：億円

	国内		海外		合計	
	金額（億円）	前年比（%）	金額（億円）	前年比（%）	金額（億円）	前年比（%）
フレキシブル・フェライトボンド磁石	31	94	15	54	46	75
リジッド・フェライトボンド磁石	113	104	80	87	193	97
希土類ボンド磁石	72	106	260	132	332	125
合計	216	103	355	112	571	108

希土類ボンド磁石

２００６年の生産重量は４５０トン（前年比８５％）で金額は７２億円（前年比１０６％）と推定しています。

回転、家電分野では重量は減少しましたが金額は増加しました。

自動車分野では用途が拡大しており数量は順調に伸び、重量・金額は増加傾向にあります。

主な用途は振動モータ、DVD、CD、ステッピングモータ、センサーに使われ、分野によっては形状が小さくなり数量の増加が見込まれます。磁粉の値上げにより海外での生産比率が高くなると思われます。

異方性磁粉での用途開発が進行しており国内・海外での磁粉量の増加が見込まれます。